

第49回日独スポーツ少年団同時交流(オンライン交流)実施要項

本交流は、日独両国のスポーツ少年団の青少年および指導者の相互交流により友好と親善を深め、国際的能力を高めると共に、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的に、2015年に調印した「日独スポーツ少年団国際交流協定書」にもとづき、次のとおり実施するものである。

<留意事項>

- ・本交流は、新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、インターネットを介したオンライン交流にて実施いたします
- ・日本団は東京都内に集結してドイツと交流を行う予定でしたが、各自自宅等からの参加形態に変更いたします。

1. 主催

公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団
都道府県体育・スポーツ協会 都道府県スポーツ少年団

2. 後援

スポーツ庁

3. 期日・期間

2022年8月1日(月)～8月5日(金) 5日間
ドイツとのオンライン交流時間:15:30～19:30 4時間

4. 人数

日本団団員 50名
※従前の実施要項等に定めていたグループごとの定員は設けません。
※オンライン交流への実施形態の変更に伴い、引率指導者の募集は行いません。

5. 参加条件

〔団員〕

以下の条件を全て満たし、道府県スポーツ少年団本部長が推薦する者。

- ① 令和3(2021)年度登録者で、令和4(2022)年度も引き続き登録が見込まれる者。
- ② 1998年4月2日～2007年4月1日生まれの者(派遣年度に16歳～24歳の誕生日を迎える者)
※ ただし、第49回(令和4(2022)年度)の交流に限り、第47回(令和2(2020)年度)交流申込者として道府県スポーツ少年団から当協会に推薦されていた者または第48回(令和3(2021)年度)交流(派遣:オンライン交流)参加者については、上記②を満たさなくても参加を認める。
- ③ 以下のいずれかに該当する者。
 - 1) 日本スポーツ少年団シニア・リーダー認定者(令和3年度認定見込者を含む)
 - 2) 所定の活動単位取得者(計20単位以上)
 - 3) 道府県スポーツ少年団本部長が特別に推薦する者(将来、所属道府県における日独スポーツ少年団同時交流受入をはじめとする国際交流に貢献する意欲があり、積極的に少年団活動に関わることが見込まれる者)

※ 当該グループの派遣人数枠を超える応募があった場合には、上記①、②、③の順位による優先順位も踏まえ、決定する。なお、本人の意向を確認したうえで、当該グループ以外の所属として決定することがある。

※ これまでに日本派遣団として参加実績のある団員についても参加を認める。

- ④ 将来、スポーツ少年団指導者として活躍が期待できる者。
- ⑤ 集団生活における規律を守ることができ協調性のある者。
- ⑥ 英語または独語等を使い、積極的に現地でのコミュニケーションを図る意欲のある者。
- ⑦ インターネットによる通信環境および通信端末(パソコン・タブレット・スマートフォン等)を有し、オンライン形式での活動に参加できる者。※パソコン・タブレットのような画面が大きい通信端末が望ましい。

<特記事項>

- 新型コロナウイルスの影響で中止とした第 47 回(令和 2(2020)年度)推薦者またはオンライン交流となった第 48 回(令和 3(2021)年度)参加者の参加を可能とする。
- 本交流(第 49 回)に参加した場合でも、来年度(第 50 回)以降の本交流への参加を可能とする(ただし他の参加条件を満たす必要があります)。

6. 申込方法

「参加申込書」を日本スポーツ協会に提出する。

7. 申込後の流れ(日本団の決定から事前研修会までの流れ)

- ① 参加申し込み(申込者→日本スポーツ少年団)
- ② 参加決定通知(日本スポーツ少年団→申込者)
- ③ 事前研修会に参加
[期日]2022年6月25日(土)(時間等詳細は調整中)
[方法]オンライン

※事前研修会にて、開催日までに行うプログラム実施に係る事前課題を発表する。

8. 経費について

参加料:無料

※ ユニフォーム代は当協会にて負担します。

※ オンライン交流への参加にかかる備品費、通信費、プログラム上必要となった経費は自己負担となります。

9. プログラム(詳細イメージ別紙参照)

共通テーマ(下記11.参照)に基づくディスカッション、日独文化体験、スポーツ体験 等(予定)

10. 共通テーマ

「スポーツ×SDGs」～スポーツが拓く社会の持続可能性～

※ 交流における研修成果をより高めるため、両組織間で設定した共通テーマに基づき、両国団員の身近な問題をディスカッションなど様々な形態と方法により研究する。

～スポーツ界における暴力行為根絶に向けたスローガン～

暴力0(ゼロ) 心でつなぐスポーツの絆